

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕 事 の 内 容	小・中学校卒業祝記念品事業				
担当部署・課長名	教育総務	課	庶務	係	課長名 石川 博隆

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施 策 番 号	1 - 1	-
【施策名】 学校教育の充実	総 合 計 画 書 (ページ)	31	

予算名	款 10	教育費	項 2	3	小学校費 中学校費	目 1	学校管理費	事業 1	小学校運営費 中学校運営費
-----	------	-----	-----	---	--------------	-----	-------	------	------------------

1 こ の 仕 事 の 目 的	① 誰（何）を対象にしていますか。 市内公立小・中学校の卒業生。	→	① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標） 市内公立小・中学校の卒業生の児童・生徒数
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 市内公立小・中学校の全課程を修了したことに対し祝いの記念品を渡す。	→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標） 市内公立小・中学校の卒業生の児童・生徒数
	③ そのために何をしましたか。 市内小・中学校の義務教育修了を記念して、卒業生に対して記念品を授与する。 小学生：四色ボールペン・シャープペンシル 中学生：二色ボールペン・シャープペンシル	→	③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標） 市内公立小・中学校の卒業生の児童・生徒数

2 指 標 の 推 移		単 位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
	対象指標	①の数値	人	1,497	1,420	1,420	/
	成果指標	②の数値	人	1,497	1,420	1,420	/
	目 標	②の目標値					
		目標値設定の考え方					
活動指標	③の数値	人	1,497	1,497	1,420	/	

3 経 費	事 業 費（実績）		円	1,566,032	1,279,800	1,591,758	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。（退職手当組合負担金、共済費も含む。）
	財 源	一般財源	円	1,566,032	1,279,800	1,591,758	
		特定財源	円	0	0	0	
		（うち受益者負担）	円	0	0	0	
	人 件 費 （目 安）	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1	
		所要人数(再任用)	人				
		職員人件費(再任用以外)	円	826,700	825,300	824,400	
	職員人件費(再任用)	円					
事業費+人件費		円	2,392,732	2,105,100	2,416,158		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環 境 変 化	この仕事の開始時期（開始年度）、何を目的に開始していますか。	義務教育の修了の節目を祝うとともに、新たな生活への意欲をもたせること。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。	
	特になし。	

仕 事 の 内 容	小・中学校卒業祝記念品事業			
担当部署・課長名	教育総務	課	庶務	係 課長名 石川 博隆

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 特になし。			
	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）			
6 市民協働	取り組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点			
7 課題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容 特になし。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。 東大和市教育委員会の文言のほかに『祝卒業』の文字を刻印することで、卒業記念品であることを分かりやすくした。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題 特になし。			
8 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） 毎年、卒業記念品として、相応しい物品を選定する。			
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 引き続き、校長の意見及び、教育長等の意向を踏まえ、卒業記念品として適切な物品の提供に努めたい。			
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。			
成果	成果を維持する。		経費	仕事の経費は維持する。